

こきりこ節

本調子

尺	マ	乙	な	上	こ	尺
工	ド	四	が	上	き	工
工	の	上	い	上	り	工
尺	サン	尺	は	上	こ	尺
上	サ	上		工	の	上
上	は	乙		尺		上
上	デ	四	そ	工	た	上
上	レ	合	で	五	け	上
上	コ	乙	の	五	は	○
○		四	か	五	し	尺
尺	ハ	上	な	工	ち	工
工	レ	工	か	尺	す	工
工	の	尺	い	上	ん	尺
尺	サン	上	じ	尺	ご	上
上	サ	上	ゃ	上	ぶ	上
上	も	○		上	じ	上
上	デ	○		上	ゃ	○
上	レ	○		○		
上	コ	○				
○	デン	○				

一、こきりこの竹は 七寸五分（しちすんごぶ）じや

長い袖（そで）の
マドのサンサは デレコデン
ハレのサンサも デレコデン

三、向いの山に 鳴く鵜（ひよどり）は
鳴いては下がり 鳴いては上がり

朝草刈りの眼をさます

二、向いの山を
かづことすれば

荷縄（になわ）が切れて かつかれ

マドのサンサは デデレコデン
ハレのサンサも デデレコデン

四、踊りたか踊れ
泣く子をいくせ

ササラは窓のもとにある

烏帽子（えぼし）狩衣（かりぎぬ）

ぬぎすてて

今は越路（こしじ）の 杣刀（そま
がたな）

五、向いの山に
光るもん何じや

星か蛍か 黄金（こがね）の虫か

今来る嫁の松明（たいまつ）なら

ば

差し上げて点（とも）しやれ 優男

(やさおとこ)

(やさおとこ)